令和6年度 犬山市障害者自立支援協議会 権利擁護部会 活動報告(令和7年3月10日時点)

◎障害者の権利擁護についての研修会を開催

趣旨:過去の権利擁護部会活動において、障害者差別解消法に則り、当事者への支援や配慮について合意形成ができているのかについて話された。
 一方的な配慮は当事者の権利侵害に当たる可能性もある事を意識する必要がある。
 令和4年度以降、障害福祉サービス等報酬改定によって事業所運営規定に「権利擁護・虐待防止」の研修実施を義務化。
 →虐待の危険性を高める要因について共有できる場が必要。障害者の権利擁護についての研修会を毎年開催。

【第1回】

○日 時 令和6年9月11日(水)10:30~11:50
 ○場 所 犬山市民交流センターフロイデ 201・202会議室
 ○演 題 SNSによる金銭トラブル(ロマンス詐欺等の詐欺被害)について
 ○講 師 愛知県消費生活総合センター 消費生活相談員 伊藤友香氏
 ○対象者 障害児通所支援事業所、相談支援事業所、障害福祉サービス提供事業所
 その他職員など
 ○出席人数 42名

《感想》※一部抜粋

- ・具体例を交えながら、支援者としての対応方法について学ぶことが出来た。また、被害者の心情についても聞くことが出来たので、伝え方含む対応方法を知ることが出来た。
- ・消費者トラブルは、障害の有無にかかわらず、誰でもなり得る事と知りました。
- ・支援者として子どものみならず保護者に向けても見守りが必要と分かった。

【第2回】

○日 時 令和6年2月12日(水)10:00~12:00
 ○場 所 犬山市役所 205会議室
 ○演 題 ・虐待通報の仕組みについて
 ・各事業所で実施している虐待防止研修や指導等について意見交換
 ○講 師 虐待防止センターより(犬山市障害者支援課) 渡辺啓司氏
 ○対象者 障害福祉サービス等提供事業所管理者(指導者)など
 ○出席人数 38名

《感想》※一部抜粋

- ・虐待かもしれないと思ったときに通報していいのか迷うことがあったが、まずは相談しても良いことを知った。虐待のボーダーラインが難しいと思っていたが、他事業所でも同じように悩んでいることを知れた。
- ・センターは支援する場所で、疑わしい事案について通報することで、その家族を守ることに携わっている事業所も守ってもらえることが理解できた。
- ・他事業所の話の聞ける機会がありがたかった。今後もこのような機会がいただけたら嬉しい。
- ・職員同士の関係が悪ければ共有しないといけないこともできず、サービスの低下の原因だと思うので職員の関係性も大切だと感じる。

令和7年度活動予定

- ・市民の方々が障害理解を深められるよう、地域に向けての啓蒙・周知活動を継続していく。
- ・当事者の権利擁護について、事業所等の専門職や地域に向けての研修会実施。